

# 「リベルタ」大和・相模原南部版 2月28日号に 川本龍成院長の記事が掲載されました



大和徳洲会病院 院長

## 医療プラス人間のつながりで 健康社会を目指す

川本龍成さん

インタビュー中、時代の変化、という言葉が多く出てきた。大和徳洲会病院の川本龍成院長は、めまぐるしく変わるさまざまな環境の中、地域の病院に必要な役割を模索、昨年4月に新築移転した大和徳洲会病院でさまざまな取り組みをしている。理想の医師像は、「地域のよるずや」。さまざまな相談を受けながら、得意とする医療の部分でアド

また訪れた患者が受付で迷うことがないように、職員がカウンターを出て患者を案内する努力もしているという。

家庭では子どもと一緒に料理もお父さんと食べてくれる、と嬉しそうに話す。

川本院長が医療の道を目指したのは、「人と接したかったから」。高齢者が増えていく今、元気で生きていく上で、人間関係

バイスできたら、と話す。診察以外にも気軽に病院を訪ねてもらえるよう、院内には無料で講演会やミニコンサートをするスペースを設けた。

を築くことはとても大切と強調する。「二人にならず、集える場所へ出ていき、思いっきり話をしてほしいのです。病院でも自治会館でもい

い、出掛ける先を作って動いてみましょう」  
\*\*\*  
ピークは越えたが風邪など感染症が多い時期には、手洗い、マスク、不要な外出を避けるなどして気を付けてほしいと呼びかける。